



日常に潜む危険を認識。



4月24日（水）、交通ルール遵守の意識を高めることを目的とした交通安全教室が、占冠中学校の生徒を対象に開催されました。

この教室では、生徒の自宅から占冠中学校までの通学路における危険な箇所を確認し、そこで気をつけるべきポイントなどについて議論しました。

生徒からは、「役場前の押しボタンの横断歩道で、自動車が信号無視をする。信号の表示を過信してはいけない。」「中学校の坂のカーブでは自動車を確認しにくい。飛び出さないよう注意。」「冬は、占冠郵便局前の信号を横断するとき、雪山で見えにくい。」「千歳橋の道が狭く、渡っているときに車が来ると少し驚く。」などの意見が出されました。

占冠駐在所の秋山所長は、「絶対に安全な場所はない。飲酒運転や居眠り運転の場合には、想定外の場所でも事故が発生する。想像力を高め、『事故が起こるかもしれない』と危険を予測して欲しい。」と話し、生徒らに交通安全を呼びかけていました。

イタヤカエデからいただく『甘み』



4月27日（土）、第4回しむかっぶ村メープルシロップ収穫祭が、道の駅で開催されました。

メープルシロップは、村内のイタヤカエデから採取した樹液をじっくりと長時間煮詰めることで完成します。

今年採取されたイタヤカエデの樹液は、9200ℓで、加工できたメープルシロップは139ℓ。手間も時間もかかる村産メープルシロップは、大変貴重なものです。

しむかっぶ村メープル収穫祭の顔となった催し『メープルトフィー』と村産メープルシロップを使用した『メープルバームクーヘン配布』にはたくさんの人が集まり、大盛況となりました。

占冠村産メープルシロップは、道の駅や村内商店で販売しております。



身体だけじゃない、思考力も鍛えられるロッククライミング



5月19日（日）、自主創造プログラム『ロッククライミングクラブ』が、赤岩青巖峡にて開催されました。

ロッククライミングクラブは、トママ地区在住の長谷川勘太郎さんの指導の下、初心者も安心して楽しめる岩場で実施されました。ロッククライミングは、体力だけではなく思考力も鍛えることができるスポーツです。初心者の場合、腕の力だけで登ろうとしてしまいがちですが、『次にどこに手を置けば登りやすくなるのか』先を見据えて行動しないとあっという間に力尽き、頂上にたどり着くことができません。ロッククライミングは身体的な強さだけではなく、戦略的な思考力も求められるスポーツなのです。

参加者は、互いに声を掛け合い、時には講師からのアドバイスを受けながら頂上をめざしました。

自動車で行く際は、時間に余裕を持ってください



5月10日（金）、道の駅自然体感しむかっぶ前で交通安全の啓発運動が行われました。

滋賀県大津市では、保育園児らの列に乗用車が突っ込み、園児2人が死亡するという大変痛ましい事故が発生しました。

交通事故は、決して他人事ではありません。運転手は加害者にもなり得ます。自動車で行く際は、時間に余裕を持って家を出ましょう。状況に合わせた安全な速度で、無理のない走行を心がけましょう。

将来の夢は消防士ですか？



5月14日（火）、火災発生時に子どもたちが安全な行動をとることができるように、占冠保育所にて避難訓練が実施されました。

火災が発生したときは、『お』さない、『か』けない、『し』ゃべらない、『も』どらないの『おかしも』が合言葉です。

園児たちは、放水体験や大きな消防車と一緒に写真撮影、消防服の試着などを楽しみながら、火災時の行動について学びました。